

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 23 日作成)

小委員会名	発注者問題小委員会		主 査 名：古阪秀三 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：森本信明
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	発注者の役割特別研究委員会において明らかになった建築プロジェクトにおける発注者の実態を受けて、次の 3 点に的を絞って活動する。 1. 今日の建築生産システムにおける発注者の役割の明確化 2. 大学等教育機関における発注者教育の検討 3. 発注者を評価する(褒める)仕組みの構築		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：古阪秀三(京都大学) 幹事：高井宏之(名城大学) 平野吉信(広島大学) 委員：安藤正雄(千葉大学) 小野田泰明(東北大学) 賀来高志(野村不動産) 片田和範(森ビル) 楠山登喜雄(フタバエンジニアリング) 齊藤広子(明海大学) 高田光雄(京都大学) 藤井晴行(東京工業大学) 布野修司(滋賀県立大学) 南一誠(芝浦工業大学) 吉田弘(国土交通省)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本年度は発注者の役割特別研究委員会の成果報告会をやり、新しい小委員会として活動を始めたばかりである。したがって、得られた成果は小委員会の当面の研究課題が決定し、とくに発注者を評価する(褒める)ためのひとつの方法として、「優れた」建築プロジェクトの顕彰制度の設計を行っていることである。
委員会活動の問題点・課題	1. できるだけ分野、地理的に広く委員を募ったため、旅費の自己負担が大きい 2. 不動産協会等の発注者組織はわかりやすいが、一般の発注者組織がないこと 3. 研究の手がかりも手探り状態であること

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通

項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。